

キャラクター名 _____ プレイヤー名 _____
防人 きめら

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
スプリングシールド	1							
効果：								
竜鱗	2							
効果：								
崩れずの群れ	1							
効果：								
命のカーテン	3							
効果：								
異形の刻印	7							
効果：								
鋼の肉体	2							
効果：								
獣の匂い	1							
効果：								
獣の直感	1							
効果：								
猫の瞳	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
FHの実験施設で「柔軟で素早い斥候」を生み出そうとして造られた人造人間、しかしそのコンセプトとは真逆の「剛硬で鈍い弾除け」になってしまった哀しき獣 FH内で「産業廃棄物」「失敗作」という単語をさんざん聞かされて育ってきたため自分はそういう存在だという強い刷り込みが施されている そんな腫れ物のような存在のためある日「処理」されることが確定し執行されることに気づいて逃亡、追い詰められたとき「正義の味方」を名乗るものが現れ身 を挺して守ってくれた、その時は命からがら逃げだし、後日その場所に残っていたクリスタルシールドを形見として持ち歩いている せいぎのみかたが言っていた「君も人を守る存在になってくれ」という言葉を実行するためどんな時でも人をかばおうとする癖がある。自分の身のことは「自分 はすでに死んでいるものであるため勘定には入れる必要がない」と考えており死んでもいい存在と割り切っている。自分の命たった一つで誰かが守れるのであればそれだけで自分に存意義があったと言い切れるのだから 脱走してしばらくしたのちUGNIに拾われチルドレンとして生きる道を選んだ。人を守るための組織と言っていたし何よりも自分自身がそのように生きなければ いけないからだ 「せーぎのみかた」を自称しているが正義とは何か全然わかつてない、ただ助けてくれた人が正義の味方を名乗っていて、「人を守れ」と言っていたからそ のように認識している 施設の中で人生の90%を過ごしてきたため精神年齢は4歳、情緒は14歳、肉体は16歳とすべてがちぐはぐな存在、肉体は強く精神が弱い自分を彼女は嫌正在 暴走すると「自分が死ねば丸く収まる」という思考に憑りつかれ自傷を試みるようになる 人の悪い感情にはとことん敏感で名前は聞かれるたびにないと答えると「嫌な感情」が流れてくるのが嫌なので名乗って違和感を持たれない形にして自分でつけた								